

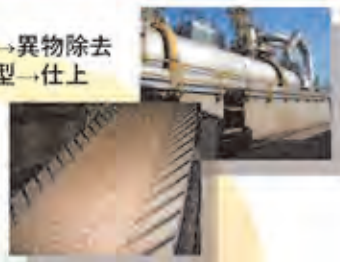
廃木材よ…よみがえれ！！

廃木材には「マテリアルリサイクル」により与えられる使命がまだあります。



廃木材

破碎→異物除去
→成型→仕上



不要となった
E・V・Aボードは
再び原材料として使用

東京ボードグループ
マテリアルリサイクル
システム



置き床・家具等
に使用

パーティクルボード
「E・V・Aボード」



廃木材の利活用、このままでいいのでしょうか？

現在、廃木材の利活用について議論される際に、常に話題の中心になるのがバイオマス発電を中心とした「エネルギー利用」です。再利用することが出来ない廃棄物をエネルギーに還元することは非常に有効な活用法であると言えます。

しかし、「エネルギー利用」する前に、今一度考え直して下さい。

その廃木材は「マテリアルリサイクル」が出来るのではないのでしょうか？
私達東京ボードグループは皆様とともに「マテリアルリサイクル」の手助けをさせていただきます。そして共にCO₂削減を図り、地球環境をより良いものへと改善していきましょう！
木々に永遠の命を与えたい…。それが東京ボードグループの使命です！！



東京ボード工業株式会社
 本社 〒136-0082 東京都江東区新木場2-11-1 TEL:03-3522-4138 FAX:03-3522-4137
 新木場工場 〒136-0082 東京都江東区新木場2-12-5 TEL:03-3522-1524 FAX:03-3522-1525
 埼玉工場 〒340-0835 埼玉県八潮市浮塚100番地 TEL:048-996-4541 FAX:048-996-4562
 横浜エコロジー株式会社
 〒236-0003 神奈川県横浜市金沢区幸浦1-4-2 TEL:045-778-1153 FAX:045-778-1154
 ティー・ビー・ロジスティクス株式会社
 〒340-0835 埼玉県八潮市浮塚100番地 TEL:048-994-1311 FAX:048-994-1315
 TB関西物流株式会社
 〒630-8452 奈良県奈良市北之庄西町1-6-11 TEL:0742-50-6222 FAX:0742-50-6667

私達は
地球温暖化防止に
全力で取り組みます

「とうきょうさんぱい」

通巻第三九五号

令和五年八月一日

発行人 鈴木宏和

発行 一般社団法人 東京都産業資源循環協会

とうきょう さんぱい

第40巻第5号 通巻第395号
395
令和5年8月1日発行

就任のご挨拶 専務理事に就任して

東京都産業資源循環協会 専務理事 鈴木研二

都議会で太陽光発電設備のリサイクルを質疑
新入会員と協会役員との懇談会
東京都廃棄物審議会にて災害廃棄物処理計画が議論された



CONTENTS

就任のご挨拶

専務理事に就任して

東京都産業資源循環協会 専務理事 鈴木 研二 2

都議会で太陽光発電設備のリサイクルを質疑 3

新入会員と協会役員との懇談会 4

東京都廃棄物審議会で災害廃棄物処理計画が議論された 10

令和5年度 公益社団法人 全国産業資源循環連合会 会長表彰 9

SDGsへの取組 目標9「インフラ、産業化、イノベーション」 14

協会の主な今後の日程 15

青年部だより 第11回 定時総会・講演会を開催 16

計報 白井 徹氏 17

女性部だより 施設見学会、定時総会、全国女性部協議会第1回通常総会 18

理事会・委員会報告 建設廃棄物委員会、安全衛生推進委員会 21

賛助会員事業紹介 日本テクノ(株) 22

広告 (株)京葉興業(正会員) 23

社員教育用の研修会をご紹介します 24

よろず相談[労務] 第14次労働災害防止計画について 26

身近なヒヤリ・ハット事例 Part 169 32

事務局だより・編集後記 33

表紙の言葉 31

暑中見舞・各社名刺広告 34

Recycle Quality
地球にやさしい燃料を作っています。廃棄物処理を通じてSDGsの実現に貢献。

■廃棄物の再資源化(産廃・一般廃)
化石燃料使用の削減を図るため、廃棄物からRPF(固形燃料)、フラブ燃料を作り出す再資源化を推進します。

■プライベートパスの設置
陸送よりもCO2排出の少ない船舶輸送を推進します(モーダルシフト)。

■埋立ゼロを目指して
廃棄物の100%リサイクルにより、サステナブルな循環型社会を目指します。

有明興業株式会社 ARIAKE KOUGYO CO.,LTD.

東京都 優良産廃処理業者認定制度 優良認定業者

●若洲工場：東京都江東区若洲 2-8-25
●リサイクルポート：東京都江東区若洲 2-8-17
●京浜島工場：東京都大田区京浜島 3-3-14
●市原工場：千葉県市原市玉前西 2-9-1
●八丈島事業所：東京都八丈島八丈町大資源 8316-1

本社：〒136-0083 東京都江東区若洲 2-8-25 TEL：03-3522-1911 FAX/03-3522-1919 http://www.aknet.co.jp/

リサイクル&クリーン事業の 安心・安全・快適 をサポート

事業系産業廃棄物の資源循環化事業
産プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、がれき類、ガラス・陶磁器くずの選別・破砕・圧縮を行い有用な資源を取り出します

産業廃棄物の減容化事業
汚泥を沈降分離と脱水で減容化を行い環境負荷を低減します(水路、下水道管渠及び道路側溝、ビルビット等から発生する汚泥)

産業廃棄物処理に付随するその他の事業
●高圧洗浄・吸引清掃 (水路、下水道管、側溝、ビルビット)
●エアコン分解洗浄
●光触媒抗菌コーティング
●消毒作業 等

エコアクション21
産廃エキスパート
株式会社 三凌商事
東京都町田市木管東1-34-6
支社：横浜 川崎 相模原 厚木 愛川
電話 042-726-2647



専務理事に就任して

東京都産業資源循環協会 専務理事

鈴木 研 二

去る6月25日に、木村専務理事の後任として当協会の専務理事に就任いたしました。この誌上をお借りして一言ご挨拶申し上げます。

私は、大学卒業後民間企業等を経て平成元年に東京都庁に入庁し、都庁職員として34年間東京都の行政に携わってまいりました。水道局、港湾局、厚生省など様々な業務に携わってまいりましたが、長くかかわっていたのは東京オリンピックと環境行政の業務です。

オリンピックの関係では2016年大会の招致活動で計画課長や国際関係の業務に携わり、2020年大会の開催にあたってはオリンピック会場となった海の森水上競技場等の6つの都立施設の開設準備と大会開催時の施設管理などにあたりました。

環境局では、地球温暖化対策を担当する都市地球環境部等で、都の気候変動対策を国際的に発信する国際環境協力の仕事に携わり、COP（気候変動枠組み条約締結国会議）関連会議をはじめ多くの国際会議で都の取組を発信しCO₂削減へ向けた世界の大都市の連携に係わってきました。部長時代には環境アセスや、大気・水質・化学物質等の規制・改善にかかわる環境改善の業務にも携わりました。

廃棄物に係る知識・経験は多くはありませんが、今般、鈴木会長はじめ、当協会の皆様に温かく受け入れていただき大変有難く、感謝しております。

さて、今日、産業廃棄物処理の事業は適正処理にとどまらず、資源循環・循環経済を支える重要な役割を担っています。今年5月に開催されたG7広島サミットでも循環経済の実現へ向けた取組が多く謳われるなど資源循環が重要な課題とされており、産業廃棄物処理業界は循環経済を支える中心的な役割を期待されています。

一方、業界や当協会では制度改正や人材確保、DXへの対応、健全財政の維持など多くの課題も山積しています。

会長、理事、会員の皆様とのコミュニケーションを密にし、これらの諸課題にスピード感をもって取り組むとともに、循環経済の担い手としての発信にも努めてまいります。

最後になりますが、会員各位及び関係者の皆様のご指導、ご鞭撻を切にお願い申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

都議会で太陽光発電設備のリサイクルを質疑

令和5年第1回都議会定例会 予算特別委員会締め括り質疑（令和5年3月20日）において、自民党の伊藤しょうこう議員が太陽光発電設備のリサイクルについて質問したので、その議事録を掲載する。

協会事務局

○ 伊藤しょうこう議員

住宅用太陽光発電設備のリサイクルについて伺います。

太陽光パネルの義務化により、将来廃棄されるパネルや蓄電池も増えることが予想されます。こうした設備がしっかりとリサイクルできる資源循環の流れを推進することが重要です。

住宅用の太陽光パネルについては屋根に設置されるため、高所かつ狭い場所での撤去作業や、一件当たりの廃棄量が少なく、収集運搬等が非効率なため、事業用と比べ費用が割高になるといわれています。パネル義務づけを進める都は、こうした課題を踏まえ、リサイクル体制の構築に責任を持って取り組むべきと考えます。

そこで、二年後の義務化施行に向けて、どのようにリサイクルに取り組むのか、都の見解を伺います。

○ 環境局長

太陽光パネルや蓄電池等の設備は、将来の本格廃棄を見据え、環境負荷の少ない効率的なリサイクル体制を整えていくことが重要でございます。

都は、平成三十年度から検討を開始し、今年度、解体業者等関係者による協議会を立ち上げ、住宅用パネルについて、取り外しマニュアル等を策定するとともに、首都圏のリサイクル施設をホームページで紹介してまいりました。

また、調査等により、住宅用のパネルのリサイクル費用は、埋立処分と比べ一キロワット当たり二万五千円程度割高になっていることが明らかになりました。そのため、その費用につままして来年度から補助を行い、リサイクルへの流れを確かなものにしてまいります。

加えて、今後は、蓄電池も含めた廃棄実態の把握に努め、将来の住宅用太陽光パネルや蓄電池等の効率的なリサイクル体制の検討を進めてまいります。



新入会員と協会役員との懇談会

東京都産業資源循環協会は、令和5年6月21日(水)13時30分より協会会議室において、新入会員と協会役員との懇談会を開催した。2022年10月から2023年3月に入会した正会員1社、賛助会員6社を対象に開いたもので、5社が出席した。

(取材 塩沢 美樹)



後列左から 鈴木 専務理事、都築 常任理事、細沼 副会長、五十嵐 副会長、二木 常任理事
前列左から 田平氏 (JOMYAKU)、近藤氏 (ファンファーレ)、海野氏 (ティプロ)
鈴木会長、川村氏 (日本トリム)、土屋氏 (アクティオ)

■ 次第

1. 会長挨拶 [鈴木宏和 会長]
2. 出席者自己紹介
3. 協会事業の状況について [鈴木研二 専務理事]
4. 新入会員との意見交換
5. 記念撮影
6. 閉会

◎出席者一覧は8ページ

■ 自己紹介・意見交換 (抜粋)

(株)ティプロ 海野氏： 賛助会員として



入会していましたが、今年3月から正会員となりました。産業廃棄物収集運搬業とコンサルティングをメインの業務としてお

ります。産業廃棄物収集運搬業許可は47都道府県、特管産廃では8都府県の許可を取得しており、様々な廃棄物処理に対し、当社独自の全国ネットワークにより、お客さまのご要望に合わせた処理方法をご提案しています。協会会員のお客さまも多く取り扱いさせていただいています。

協会の取組を勉強させていただき、ご協力できることがあれば、よろしく願いいたします。

協会に対する質問ですが、委員会活動や研修会に参加するにはどうすればいいのでしょうか。

協会役員： 各委員会・部会が企画開催する研修会等の行事については、会員のどなたでも参加いただけます。ホームページやメールでご案内していますので、ぜひメールアドレスをご登録ください。

各委員会の活動は、機関誌でも紹介していますので、ご覧になってください。

委員会の委員は定員数が決まっております。現在はずべて埋まっています。任期は2年です。

ファンファーレ(株)近藤氏： 産廃に特化したAI配車サービスを提供しています。たとえばAIで廃棄物の収集運搬ルートを自動作成するというシステムです。



正会員の皆様と情報交換させていただき、業務の課題をヒアリングしていきたいです。

さらに、協会の会員数を増やしていくにあたって、できることがあれば貢献したいと思っています。弊社は、AIを導入された企業の成功または失敗事例の情報を多く持っていますので、DXに関する勉強会でしたら企画からご協力できます。この勉強会に参加してよかったと会員の皆様を感じていただければ、会員を増やすための一助になるのでは、と推測しています。

協会役員： 収集運搬委員会でプレゼンテーションをされたと聞いていますが、中間処理業者で収集運搬も行っている会社にもPRしたらよいのではないのでしょうか。中間処理委員会でもプレゼンしてみてもいいのでは。

近藤氏： 当社のシステムには中間処理施設で渋滞が起きないようにAIが到着時間を調整するという機能もあるので、中間処理業の会員の皆様にもお話をさせていただきたいです。

協会役員： 最近、当協会の賛助会員さんにもIT系の会社が増えていますが、

それぞれ独自のシステムなので、バラバラだと使いづらくもしくれません。協会会員専用のベーシックプランを共同開発できれば、多くの会員が利用できるのではと思います。

近藤氏： いろいろとアイデアをいただきました。

(株)日本トリム 川村氏： 当社は、水だけで42期やってきている上場会社です。国から医療機器として認可された整水器を取り扱っております。多くの会社様に社員の健康のためということで導入いただいておりますし、個人で導入される方もおられます。

昨年、協会のいくつかの委員会・部会において熱中症対策や社員の健康管理の位置づけとしてプレゼンテーションをさせていただきましたが、より多くの会員の皆様に知っていただく機会を増やすにはどうしたらよいでしょうか。

協会役員： 定時総会や賀詞交歓会の会場に、賛助会員の皆様の事業を紹介するコーナーを提供していますが、出展されたことはありますか。

川村氏： まだ出展したことはありません。

協会役員： 定時総会や賀詞交歓会には、かなりの数の会員が来訪するので、その場で名刺交換したり、自社の事業説明をするなど、営業活動に

ぜひご利用ください。

ところで、素朴な質問ですが、この機器は蛇口に繋げて使うのですか。

川村氏： 蛇口直結型の整水器という医療機器になります。

協会役員： 最近は皆さんミネラルウォーターを買って飲んでいますよね。うちの社員もそうなので、関心があります。

川村氏： 当社の整水器は、医薬品医療機器等法に規定された管理医療機器であり、水を飲むだけで「胃腸症状の改善」効果が認められています。

近年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大もあって、従業員の健康管理と企業の経営管理の両立を目指す「健康経営」を重要視する企業が増えています。健康経営の取組の一つとして、ぜひ導入をご検討いただければと思います。

JOMYAKU(株) 田平氏： 受注の受付から配車手配までカバーするサービスを提供しています。データ分析の機能もあり、車両の稼働率や従業員ごとの作業の可視化、たとえば、この従業員は手積み作業が多いといった分析も可能です。

私はこの業界に入って3年目ほどです。私はこの業界に入って3年目ほどです。私はこの業界に入って3年目ほどです。

私はこの業界に入って3年目ほどです。私はこの業界に入って3年目ほどです。私はこの業界に入って3年目ほどです。

るような形で貢献できれば嬉しいです。最近、趣味でチャットGPTを利用しているのですが、そういったものを活用して、受付を自動でできないか、などと考えています。よろしくお願ひいたします。

当社のサービス内容については、機関誌第393号に投稿を掲載していただきましたので、そちらもご一読いただければと思います。

協会に対する質問は、今後5～10年かけてこの業界の中で何をしたいかなければならないのか、どうしていきたいのか、ということです。人の採用や教育、排出事業者とのパワーバランスをどうにかしたいなど、様々な課題があると思いますが、ご意見を聞きたいです。

協会役員： この業界の年収が他業種の大企業に近づくためにも、省人数、省力化して生産性をあげたいと考えています。

協会役員： うちはずいぶん前からドライバーを時間で管理していますが、ルートまでは管理ができていません。配車担当者が、より効率の良いルートを指示できるようにするなど、業務効率化を検討中です。

協会役員： さきほども話題に出ましたが、IT系のサービスを提供する賛助会員さんが増えていますが、A社のここと、B社のここを繋げられないか、などと感じる場合があります。

協会役員： 協会で脱炭素の取組調査を受託したので、大手ゼネコン、高層ビルの管理会社、印刷大手などを調

査したところ、Scope3の観点で、運搬部門でいかに効率化を進めて徹底的にCO₂を出さないかということに関心が高いことがわかりました。排出事業者とのパワーバランスにも関係してくると思います。

田平氏： 色々なご意見をありがとうございました。当社でも、当社のサービスを排出事業者にも使っていただく方法はないかと考えています。収集運搬部門だけじゃなく、これなら使いたいという付加価値をつけ、当社のサービスを通じて売上利益を伸ばしてもらうには、ということを考えています。

(株)アクティオ 土屋氏： 建設機械のレンタル会社です。56年前に水中ポンプから始まって、今では発電機、バックホー、フォークリフトなど広範囲に機器を取り扱って

おります。

レンタル会社というのはメーカーから購入して貸し出すわけですが、最近ではそれだけではだめだと、様々な付加価値を現場から求められておりまして、最近よく言われるのが安全装置です。当社で安全装置を取り付けて提供するというものもしています。

今回、入会した経緯ですが、人との接触防止など安全に関するご相談があり、対応させていただいたことをきっかけに入会のお誘いをいただ

きました。会員の皆様の施設では、機械はほとんど購入されていてレンタルすることはないと思いますが、設備の保守管理の際に、高所作業車をレンタルしていただいたという事例もありますので、皆様のお役に立つことがあればぜひ支援させていただきたいと思っております。

会員の皆様のニーズやお困りごとを勉強していきたいです。

協会役員： 安全装置の話ができましたが、場内で10km/h以上出ないようにできないかなど、色々なメーカーに相談していますが、なかなか対応してもらえません。メーカーが取り付けないのに御社では対応していただけるのですか。

土屋氏： たとえばバックホーは、過荷重になると警告ブザーが鳴りますが自動で停止することはなく、オペレーターが作業を続ければ事故に

繋がってしまいます。当社では停止するように回路を組んで対応したりしています。ただ、最近では配電盤のようなものが無く、改造が難しいという問題があります。ですが、現場が困っていることを何とかしようというのが、私どもの使命だと思っておりますので、メーカーに言ってもやってくれないというときには、ぜひ当社にご相談ください。

協会役員： 安全衛生推進委員会で年に1回研修会を開催しています。先日、重機メーカーとフォークリフトメーカーから安全の取組に関する講習をしてもらいました。アクティオさんにも安全対策の講習をお願いすることがあると思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、予定の時間になりました。皆さまどうもありがとうございました。

出席者一覧

(順不同、敬称略)

	会社名／役職・氏名	所在地
正会員	(株) ティプロ 営業部 部長 海野 智裕	京都府京都市下京区四條通室町東入函谷 アーバンネット四條烏丸ビル6階 ☎ 075-279-4276
賛助会員	ファンファーレ(株) 代表取締役 近藤 志人	東京都新宿区四谷本塩町 2-8 A YOTSUYA 1NW/2 ☎ 050-1748-2697
賛助会員	(株) 日本トリム 係長 川村 貴士	大阪府大阪市北区梅田 2-2-22 ハービス ENT オフィスタワー 22階 ☎ 06-6456-4600
賛助会員	JOMYAKU(株) 代表取締役 田平 誠人	東京都千代田区四番町 6 東急番町ビル ☎ 03-5745-3905
賛助会員	(株) アクティオ 専任部長 土屋 敏明	東京都中央区日本橋 3-12-2 朝日ビルヂング 7階 ☎ 03-6854-1417

令和5年度 公益社団法人 全国産業資源循環連合会 会長表彰

このたび、当協会より令和5年度公益社団法人全国産業資源循環連合会会長表彰「地方功労者」3名、「優良事業所」1社、「地方優良事業所」5社、「優良従事者」4名の方々が受賞されました。

なお、昨年より全国産業資源循環連合会の総会では、表彰式を執り行わないこととなっておりますので、本誌面にて受賞された方々を発表させていただきます。

皆さま、おめでとうございます。

受賞された方々

(順不同、敬称略)

※ 地方功労者表彰 (3名)

篠原 周治 (株) 五十嵐商会 代表取締役副社長
千明 賢人 (株) メッドトラスト東京 代表取締役
相川 和政 ティー・ビー・ロジスティックス(株) 代表取締役社長

※ 優良事業所表彰 (1社)

有明興業 株式会社

※ 地方優良事業所表彰 (5社)

株式会社 明和運輸
コトブキ環境 株式会社
オーエム通商 株式会社
株式会社 ハイシステム
株式会社 リーテム 東京工場

※ 優良従事者表彰 (4名)

菅野 みゆき 高俊興業(株)
浦野 善勝 (株) 都市環境エンジニアリング
原 美紀 (株) 三凌商事
浅水 新一 (株) 京葉興業

皆さまの益々のご活躍を祈念申し上げます。

東京都廃棄物審議会が災害廃棄物処理計画が議論された

東京都災害廃棄物処理計画の改定を議題とする東京都廃棄物審議会が令和5年5月18日に開催され、当協会鈴木会長も出席した。オンラインで傍聴をしたので、審議会委員の方々のご意見を中心にここに記載する。

なお、東京都災害廃棄物処理計画の改定（中間のまとめ）は、6月29日までパブリックコメントの募集がなされた。9月上旬の審議会を経て、新計画は9月下旬に策定予定である。
事務局長 木村 尊彦

○高橋委員（東京商工会議所）

今回、民間事業者との連携というところも打ち出されて非常にありがたい。

水害の場合の片付けごみがキーワードになる。荒川水系や多摩川水系を考えると、水害被害地域は、商業地域、商店、倉庫や工場が集積している地域になるので、そこから出てくる片付けごみ量も推計すべき。

中小事業者にとってはどうしていいのかわかりづらいので、中小の、例えば飲食店向けの水害時の事前の対策、事後の対策の啓発も検討されたい。

○東京都環境局

今回、示したのは、水害では、全壊、半壊、床上浸水、床下浸水が発生するとどの程度の廃棄物が出るかといったところ。

事業者向けの普及啓発は、今後の検討課題とする。

○鬼沢委員（NPO 法人持続可能な社会をつくる元気ネット）

合同処理本部の設置は非常に重要だが、やはり平常時からの訓練・演習が重要になる。

平常時からの訓練・演習をスムーズにしていくためにも、平常時からいろいろ相談ができる形にしておく必要がある。それには、設置本部の中に災害廃棄物専門官を明確にしておいて、相談がしやすく、その人と連携しながら平常時から訓練とか演習ができるような形にしておくのがよい。

○東京都環境局

毎年自治体の職員を対象とした訓練を実施している。最近では区市町村がつくった災害廃棄物処理計画に基づいて、いわゆる図上訓練を行っている。

今後、各合同処理本部等設置した際には、我々の知見も活用しながら演習等を行ってほしい。

○大石委員（(公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会）

避難所などで生活することによって、日常出ないような廃棄物が災害後に増えてくる。避難所での汚物、下水道が止まってしまった場合の紙おむつの増大について、高齢社会

になっているので、考慮しておく必要がある。

○東京都環境局

避難所ごみをこの計画の対象にしている。一方で個々の品目をどうするかはこの計画の中では盛り込んでいない。災害廃棄物の大枠の中で処理をしてもらう。

○平湯委員（武蔵野大学経済学部教授）

便乗ごみは大きな検討をしておかなければならないものである。住民が出す場合と、どさくさに紛れてほかのところから持ってくる場合もあるので、例えば車のナンバーを確認するとよい。

都民への啓発で、日頃から使わないもの、退蔵品はちゃんとしておきましょうと提案しておくことが重要である。

○東京都環境局

便乗ごみについては、一次仮置場のところで記録を取る形で、他県ナンバーについて入れさせてないと、この計画に盛り込んでいる。

退蔵品については、都民の役割、事業者の役割のところにも今回新たに記載した。

○村上委員（東京大学大学院工学系研究科教授）

実際に災害が起きてしまったときの初期段階での情報伝達について、ホームページで市区町村が発信されている内容で、アップデートの能力が違って、更新できたりできなかったりすると思う。実際の正しい情報と齟齬があるとか、市区町村間でそろっていない話を出して整合性が取れているのか気にはなる。都のページにリンクをとばしてしまうだけに限定させてしまうとかもあり得る。

○東京都環境局

災害時のごみの出し方等については、基本的には区市町村。各区市町村でルールが違い、都が統一するのは難しい。今回は参考資料でツールの利用を示したので、それを参考に区市町村で周知を図ってほしい。

○佐藤委員（弁護士）

産業界でも相当の廃棄物が出てくる。産業界のほうは保険や事業継続の観点から、早期の事業開始あるいは継続をと思うので、産廃に関することは重要である。

九都県市との連携も含めて現実には対応していただきたい。

○東京都環境局

自治体だけで処理できないところも多々あるので、産業界との連携は非常に重要と考えている。

現状都として協定を結んでいるところが産業廃棄物の業界団体だけというような事情もあるので、今後新たな連携についても模索したい。

○戸部委員（(公社)東京都リサイクル事業協会）

私たちの協会は、災害が起こった後、多くは車を出してその災害廃棄物を片づけるお

手伝いをしてきた。水害に対しては、我々の車両の置き場は東京の東側、荒川に沿ったところが多いので、自分たちの車をまずどこかに避難させなければならないから、いち早い緊急情報が必要になってくる。それと車庫を少し盛り土をして少しでも高くしようか、水深が2メートルからになると車両をどこかに避難させなければならない。組合ではこの避難先が見つからず悩んでいる。今後、都のほうで相談に乗っていただきたい。

車庫が災害にあった場合、半年近く車両が手に入らなくなってしまう。我々協会として都と話をしたい。同じような問題が東京都産業資源循環協会もあると思うので、機会があれば我々と相談に乗っていただきたい。

○東京都環境局

承知した。車両が沈むのは非常に大きな問題なので、今後御意見をいただきたい。

○高崎委員（(一社)日本建設業連合会)

初期の初動のときは、余裕がない。トラックスケールを設置して正確な搬出入量を把握することも検討するとあるが、トラックスケールを運ぶことが難しい状況も結構あると思う。目視で、容積、何リューベとかを記録する方が現実的だ。

最悪な場合を想定した書き方、順序というのがいい。

特に、パソコンを使わないとできないようなことが書いていないかとか、本当の最悪の場合を想定した書き方になっているか見直したほうがいい。

○東京都環境局

必要に応じてトラックスケールを設置する、その次の段には設置していない場合という記載になっているので、順番を入れ替えることなどを検討する。

10トントラックで搬出する場合などに積載量を超過しないことは求められる。

非常災害時には、台数や車両の種類等を記録して、毎日、どれくらいの搬入量があったか管理していこうということである。

○高崎委員

分別の記載もあるが、細かな分別は難しいと思うので、最低限燃えるもの・燃えないものに分けるとか、過去の災害事例を参考にしながら具体的に書いてあげると慌てなくていい。

○森本会長（早稲田大学法学部教授）

水害の場合に汚泥をどうするかというのは結構大きな課題である。汚泥そのものの量が多い。この汚泥が例えば家電製品に付着して、洗浄しなくてはいけないということもある。夏場は、乾燥してそれが飛散して病気のもとになる。どこかで配慮されたい。

水害の場合は生ごみがかなり出てくる。腐敗性の廃棄物の回収というのは急ぐ必要がある。感染性、あるいは危険性のある廃棄物について特別に書いたらいい。

オープンスペースについて、国有地も区の所有地もあるが、民間のオープンスペースを活用することもあると思うので、それを示唆する表現があってもいい。

○東京都環境局

汚泥については、部会等でも議論していないので、中間のまとめで掲載するのは難しい。パブコメ後の部会などで検討したい。

生ごみについては、区市町村が定める処理方針となっていて、平時の回収を継続すると示している。感染性については、例えば感染拡大の防止のために早期に解決するといった視点を加える。

○鈴木宏和委員（(一社)東京都産業資源循環協会)

私どもの協会では、エリアごとに担当の協力業者を決めたりする。中小企業なので、大規模災害になると、何カ月も立替払いという形になると非常に困る。支払い関係はどういった形になるのか。

災害時には燃料の供給がままならない。車両、重機を動かす場合に、優先的に供給を受けるといった形が取れないか。

全国産業資源循環連合会の関東ブロックでお互い協定を結んで協働関係で応援体制を組むよう動いていて、近隣の県で災害が起きた場合には、一番近いところの県で応援をするという形の体制を整えていく。

○東京都環境局

現時点で、処理委託費の支払いをどうするか、燃料をどうするかは、答えがない。環境局だけでは判断できないので、今後の検討課題とする。

近隣の県と協定は非常に心強いので、引き続き連携を図りながら進めていきたい。

○鈴木隆博委員（日本チェーンストア協会）

今回の災害廃棄物の対象はどちらかというと生活ごみの話と理解をしている。その中で、小売業も早期のライフラインの確保として営業再開に向けて動く。そういった事業系廃棄物の処理計画もこの後の検討項目に入るのかどうか。

○東京都環境局

小売店の場合、多くの避難者の方に対して、生活を支えるという視点で活動されているので、災害に伴う廃棄物処理の中で対応できていることがある。

ただし、工場が災害で被災して事業を再開するという点は、普通の事業活動になるので、産廃と同様に、各事業者のBCPで検討されたい。

最後に、資源循環推進部長の志村氏より、あいさつがあった。

○志村資源循環推進部長

情報の提供や更新についても最新ののものになるようにしなければならないとか、協力いただく事業者の事情も考慮する必要があるとか、感染症のリスクに対応していかなければならないといった点を、できる限り取り込んで計画を策定していきたい。

また、平常時の準備として、最新の情報提供や訓練を、実際に処理を行う区市町村の皆様を意識してもらような取組を東京都でしていきたい。


SDGs への取組

SDGsと言われても一体なにをしたらいいのだという声を聞く。広報委員会では、毎月、目標を一つずつ取り上げ意見交換している。いよいよ折り返しを過ぎた。



目標9 インフラ、産業化、イノベーション

- エッセンシャルワーカーとして、また循環産業の担い手として、我々の業界がインフラの一部であることを再認識しよう。
- 災害時にも事業が続けられるように、BCPを作成するとともに、施設の耐震・耐水化など強靱化を図ろう。そのための、行政からの経済的支援を期待する。
- 排出事業者が求めるニーズ、例えばリサイクル率のアップや脱炭素の実現を目指し、経営者は、先進的設備の導入や、従業員の知識・技術の向上に投資しよう。
- 都市鉱山の開発を続けて希少金属を確保しよう。ごみからバイオガス等の再生可能エネルギーを取り出そう。
- 産官学連携の取組が進められるよう、我が業界からその取り組み内容を提案していこう。
- メーカーは再生利用しやすい素材を使って製品開発をしてほしい。
- 行政の優良認定制度は、取得した者のメリットが明確に現れるように制度設計してほしい。
- 運搬効率を上げるため、複数社で共同輸送ができるような法制度にしてほしい。
- 運搬過程での燃料や排ガス量を削減するための新型車両の導入には、充電・充填設備の整備を同時並行で進めてほしい。
- 行政は、まちづくりの一環として、地産地消を目指して、資源循環施設を包含した都市整備事業を行ってほしい。
- 焼却灰からの金属回収技術の進歩やAIロボット選別機の進化などについて、設備機械メーカーの技術者との意見交換、交流を積極的に行おう。
- 処理委託契約書の電子化と電子マニフェストの使用を、排出事業者と処理業者が共同して進めていこう。
- 製品等のライフサイクルの中での環境に関する情報を、メーカー、販売者、ユーザーと共有するとともに、資源循環のために必要な行動様式を処理業者から発信していこう。

【強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る】

□	9.1	すべての人々に安価で公平なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援するために、地域・越境インフラを含む質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱（レジリエント）なインフラを開発する。
□	9.2	包摂的かつ持続可能な産業化を促進し、2030年までに各国の状況に応じて雇用及びGDPに占める産業セクターの割合を大幅に増加させる。後発開発途上国については同割合を倍増させる。
□	9.3	特に開発途上国における小規模の製造業その他の企業の、安価な資金貸付などの金融サービスやバリューチェーン及び市場への統合へのアクセスを拡大する。
□	9.4	2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。すべての国々は各国の能力に応じた取組を行う。
□	9.5	2030年までにイノベーションを促進させることや100万人当たりの研究開発従事者数を大幅に増加させ、また官民研究開発の支出を拡大させるなど、開発途上国をはじめとするすべての国々の産業セクターにおける科学研究を促進し、技術能力を向上させる。
□	9.a	アフリカ諸国、後発開発途上国、内陸開発途上国及び小島嶼開発途上国への金融・テクノロジー・技術の支援強化を通じて、開発途上国における持続可能かつ強靱（レジリエント）なインフラ開発を促進する。
□	9.b	産業の多様化や商品への付加価値創造などに資する政策環境の確保などを通じて、開発途上国の国内における技術開発、研究及びイノベーションを支援する。
□	9.c	後発開発途上国において情報通信技術へのアクセスを大幅に向上させ、2020年までに普遍的かつ安価なインターネット・アクセスを提供できるよう図る。

協会の主な今後の日程

(令和5年7月12日現在)

月	日	曜日	行事予定	備考
8	3	木	医療廃棄物委員会「BCP勉強会」 13:00～	協会会議室
	9	水	広報委員会 10:00～	協会会議室
	10	木	全産連青年部協議会関東ブロック 14:00～17:00	協会会議室
	17	木	女性部幹事会	協会会議室
	24	木	全産連；令和5年度第1回全国正会員事務局責任者会議 14:00～16:00	Web開催
	25	金	医療廃棄物委員会 15:00～	協会会議室
9	8	金	収集運搬委員会 施設見学会（8～9日）	CCS実証試験施設（北海道苫小牧市）
	9	土		
	13	水	広報委員会 10:00～	協会会議室
	14	木	法制度検討委員会 14:30～	協会会議室
	15	金	医療廃棄物委員会「一都二県医療廃棄物合同懇談会」	(静岡県)
	21	木	女性部幹事会	協会会議室
	26	火	青年部幹事会 15:00～	協会会議室
27	水	中間処理委員会／破碎・圧縮分科会 合同 13:30～	協会会議室	

第11回 定時総会を開催 講演会「実力発揮のためのプラス思考」

青年部（矢部 要 部長）は、令和5年5月30日(火)14時から、エッサム神田ホール2号館（千代田区内神田）にて第11回定時総会・講演会を開催しました。



定時総会会場

■ 定時総会

河相幹事による開会宣言の後、矢部部長が挨拶を述べた後、議長に矢部部長が指名され、冒頭、島田幹事より定足数の報告がなされました。報告を受け、矢部議長が、「部員数が68名、本人出席が38名、委任状による出席が9名、合計47名の出席を得て、定足数に達していたため総会は成立する」旨、宣言しました。

その後、議案の審議に入り、2022年度の事業報告、収支決算報告、監査報告及び2023年度の事業計画案、収支予算案の

各議案の審議が行われ、それぞれ満場一致で可決承認されました。

最後に矢部部長からは、3期目5年目を終えようとする中、「今期は青年部30周年記念式典を10月20日(金)に控えており、青年部の皆さんのご協力及びご参加をいただきたい」旨を出席者に要請しました。以上のとおり全ての議案が可決承認され、矢部議長の任が解かれ、吉原幹事の閉会宣言を以って第11回定時総会は無事終了しました。

■ 講演会

総会後の講演会では、「実力発揮のためのプラス思考」と題し、新春講演会に続き、



谷野 講師

ココロツクル株式会社 代表取締役 谷野隆太氏より、自身がコーチングとして培った応用スポーツ心理学（スポーツメンタルトレーニング）の体験談をも

とに、青年部会員企業の各社でも共感をえることのできるプラス思考とマイナス思考のロジックが講演され、2-6-2の法則を交えたメンタルの考え方に感慨を覚えました。また、活発な質疑応答もなされ、村松研修委員長の閉会挨拶にて、盛会のうちに講演会を終えることができました。

過年よりコロナ禍による各事業の開催が見送られた中、今年に入ってからは、一般部員も参加した事業として、1月に賀詞交歓会に合わせて『パフォーマンスを上げる

「内発的やる気」の組織作り』の講演を新春の研修事業として行いました。続いて2月には、コミュニケーション委員会主催の視察事業として、埼玉県春日部市へ首都圏外郭放水路見学会も開催しました。共に多くの青年部員が集い、学びをえることができました。今年度は、青年部30周年記念式典をはじめ、研修委員会主催のマネジメントゲーム研修、コミュニケーション委員会主催のバーベキュー交流事業など本格的に事業開催がされることで、青年部がより活性化されていくことでしょう。

末筆ながら、私は3年前に入会してから、コロナ禍により青年部事業が行われず、携わることができませんでした。今年度から青年部事業へ積極的に参加したいと思えます。青年部員各社の一層のご発展を心よりお祈りいたします。

（青木環境事業(株) 東京営業所

三川 俊郎 記）

訃 報

白井 徹 氏（当協会 常任理事、白井エコセンター(株) 代表取締役社長）が6月24日、逝去されました（58歳）。謹んで哀悼の意を表します。

世界初のゼロエミ水素ホテル 訪問



Jバイオフードリサイクルにて



東急 REI ホテル



東急 REI ホテルでの講演の様子



水耕レタス

女性部（野村幸江 部長）は、令和5年5月18日(木)～5月19日(金)、横浜市鶴見区に位置するJ&T環境(株)グループ会社である「(株)Jバイオフードリサイクル 横浜工場」、川崎市川崎区に位置する(株)東急ホテルズ「川崎キングスカイフロント東急 REI ホテル」の施設見学会を実施しました。

2019年6月の施設見学会でも、弊社J&T環境(株)及び(株)Jバイオフードリサイクルへお越しいただきました。今回、4年振りの再訪となり、よりパワーアップした工場をみなさまに見ただけのことを大変嬉しく思いながら当日を迎えました。

初日はJバイオフードリサイクル横浜工場へ訪問し、代表取締役社長 蔭山から、会社概要やリサイクルの取り組み・肥料販売の取り組みについて説明をいたしました。

Jバイオフードリサイクルでは食品リサイクルを行っており、食品残渣から発生させたバイオガスを元に創出した電力を排出事業者に還元する電力リサイクルループの構築と、二次処理物残渣を肥料として販売するという農業ループの構築による、ダブルリサイクルループを実現しております。

翌日は、倉庫を改装して作られたホテルをコンセプトに、斬新なデザインと圧

倒的なマテリアル感が特徴の川崎キングスカイフロント東急REIホテルへ訪問し、見学を行いました。当ホテルは、使用済みプラスチック由来の水素を電気・熱エネルギーとして活用する世界初の「水素ホテル」として注目されています。

東急REIホテル営業 黒崎様よりホテルのサステナブルな取り組みについてご紹介いただきました。Jバイオフードリサイクルでの食品リサイクルはもちろんのこと、使用済みプラスチックのリサイクルにも積極的に取り組まれております。使用済みプラスチックをガス化炉に投入し、水素を抽出、水素燃料にして、ホテル館内の照明や電源に利用されています。更には、そのエネルギーを利用したLED照明によるレタスの水耕栽培も行っているとのことです。実際に試食させていただく機会がありましたが、非常に新鮮でみずみずしいもので、感動しました。ちなみに、これらの取り組みを通して、ホテルの総電力の約15%を水素エネルギーで賄っているとのこと。

続いて、ホテルへ電力を提供している

アーバンエナジー(株)金子様より再生可能エネルギーの展開とその取り組みをご紹介いただきました。

ホテル内のレストランやカフェで発生した食品廃棄物をJバイオフードリサイクルにてリサイクル・発電し、その電力を、アーバンエナジーから廃棄物発生元のホテルへCO₂排出ゼロの電気として供給するプラン（ゼロエミプラン）を提供することで、電力リサイクルループの確立が可能となることから、SDGs、CSRの観点からも非常に注目されている事業です。

2日間の施設見学会を通して、先進的な取り組みを積極的に行われている排出事業者の施設、処理施設に伺うことで、改めてSDGsについて考える良い機会となりました。今後も「サステナブル」な取り組みの一翼を担えるよう、常に新しい情報を取り入れ、人や地球にやさしい取り組みの実現をしていきたいと思っております。

(J&T環境(株) 小田 梨香 記)

女性部 定時総会・全体ミーティング開催

女性部（野村幸江 部長）は、令和5年6月15日(木)15時より、協会会議室において第19回定時総会を開催しました。部員数37名に対し24名の可決（委任状含む）により第1号議案から第4号議案までの全議案は承認されました。

総会閉会後は全体ミーティングで今年度の活動計画について協議を行い、コロナ禍のなか実現できなかったイベントを企画する事ができました。今年度は多くの部員が楽しみながら勉強できる場を作っていきたいと思っております。

(株)調布清掃 望月 麻子 記)

全国産業資源循環連合会女性部協議会 第1回通常総会・ランチ会開催

(公社)全国産業資源循環連合会 女性部協議会(二木玲子 会長、以下「全国女性部協議会」)は、令和5年6月16日(金)11時30分より明治記念館「末広の間」で、全国女性部協議会員や産業資源循環業界等に従事する女性48名にて第1回通常総会・ランチ会を開催しました。北は北海道、南は鹿児島県と、全国の地域から参加され、東京女性部からは8名の参加となりました。

まず初めに二木会長から挨拶があり、資源循環業界で働く女性たちのコミュニティサイトの登録者数が100名を突破し、これからも女性が活躍できる業界を目指して積極的な活動を行っていきたいとお話がありました。次に全国産業資源循環連合会の永井良一会長からご挨拶があり、発足当初から全国女性部協議会は活発な活動がある事の驚きと今後も連合会として後押しされる事のお言葉をい

たきました。

通常総会は1号議案から5号議案まで全会一致で可決され無事に閉会となり、その後のランチ会では、環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課課長補佐影山凡子様とのトークセッションが行われました。入省のきっかけとなったご体験、これまでの国際的なご活躍の背景、各国それぞれの立場として物事を見る事の重要性、各社の良い取組を英語等で発信していく事の必要性等をお話くださり、国際的な視点を持たれた影山様ならではの視野の広さを感じ、当業界が世界に発信する事で国際的な環境保全に貢献できる可能性を感じました。

各女性部同士での更なる相互交流を深めていまいしょうと各所で挨拶を交わし、別れを惜しみながらランチ会は閉会となりました。

(株)調布清掃 望月 麻子 記)



総会会場



「末広の間」の前庭で集合写真

理 事 会 ・ 委 員 会 報 告

建設廃棄物委員会 (高橋 委員長)

開催日時: 6月7日(水) 15時～

場所: 協会会議室

出席委員: 11名

議題及び内容:

① 10月の四団体合同施設見学会・意見交換会について

関連四団体による、施設見学会の視察先と日程及び都庁との意見交換会のテーマについて検討した。当委員会で選定した視察先候補・テーマ候補のほか、他の三団体(東京建設業協会、東京建物解体協会、東京都中小建設業協会)からの候補を募り、6月中に決定する。

次回開催日: 10月26日(木) (決定) 四団体合同施設見学会・意見交換会

安全衛生推進委員会 (細沼 委員長)

開催日時: 6月13日(火) 15時～

場所: 協会会議室

出席委員: 14名

議題及び内容:

① 報告・東京労働局長表彰について

西原副委員長の東京労働局長表彰安全衛生推進賞の表彰決定の通知が東京労働局からあった。

② 10月合同安全衛生パトロールについて

東京労働局との合同安全衛生パトロールを10月に実施する。会員企業にパトロール受入れ企業を募集したところ5社より申込みがあった。場所、処理内容等を考慮して3社パトロールすることとした。

③ 第3次労働災害防止計画(上半期(令和5年～7年度)案について)

労働災害防止計画案について確認した。
7月12日理事会で承認後、公表する。

④ 安全衛生標語コンクール募集要項確認

募集要項を確認した。8月1日～9月30日を募集期間とする。
11月委員会で受賞者を決定する。1月賀詞交歓会で受賞式を行う。

⑤ 2月研修会テーマ及び日程について

2部構成とし、第一部は東京労働局に安全講話をお願いする。
第二部については次回の委員会で決定する。

次回開催日: 10月 東京労働局との合同安全衛生パトロール

日本テクノ株式会社

令和5年5月12日入会

日本テクノは電気エネルギーに関する
総合サービスを提供します。

つくる

調達改善 発電・小売電気事業

まもる

保安改善 保安管理・点検業務

賢くつかう

運用改善 電力コンサルティング



SMART CLOCK



SMARTMETER ERIA



日本テクノ株式会社

営業本部 営業推進部 MC・営業課
〒163-0651 東京都新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル 51 階
TEL 03-5909-5389 担当：佐藤



株式会社
京葉興業

URL <https://www.keiyokogyo.co.jp>



EJ01240/ISO 14001
認証範囲はHPでご確認ください。

快適な環境づくりと
自然との共生をめざして



適正処理と高度資源循環のため
システムソリューションを推進します

< 京葉興業グループ >

実績と信頼のもと
多様なニーズにお応えします

株式会社 京葉興業 〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町1丁目2番6号 Tel03-3678-0111 Fax03-3670-9140
三和清運 株式会社 〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町3丁目2番6号 Tel03-3679-8555 Fax03-3679-3855
株式会社 ビー・アル・クリエイト 〒289-0511 千葉県旭市鍋木3 4 8 4 番地1 Tel0479-68-4808 Fax0479-68-4809

社員教育用の研修会をご紹介します

産業廃棄物処理業に従事する方々が、知るべき法律知識などを学ぶための研修会をまとめてみました。受講にあたっては、毎年度開催時期などが異なりますので、最新情報をご確認ください。

協会事務局

1. (公財) 東京都環境公社

- 産業廃棄物処理業 新入社員向け スタートアップ研修 (Web 開催)
(令和5年度は済み)
【日 時】 5月30日(火) 13:15~16:30
【申込開始】 5月9日(火) 13:00~
【定 員】 **先着80名**
【参加費】 無料
- 産業廃棄物処理業者向け講習会 (オンライン講習)
「適正処理の基礎知識と産廃処理の実務に関する講習」
例年全5回(令和5年度は第1回7月~第5回令和6年1月)
【定 員】 制限なし
【参加費】 無料

2. (公社) 全国産業資源循環連合会

- 産業廃棄物処理検定 (廃棄物処理法基礎) 「環境大臣登録の人材認定等事業」
令和5年度
【日 時】 令和6年2月18日(日) 13:15~16:30
【申込開始】 12月1日(金)
詳細は決まり次第全産連HPで公表
- 産業廃棄物処理 実務者研修会 eラーニング講座
(受講期間約1か月間)
令和5年度
第1期 5月(第1期申込受付は終了)
第2期 6月(第2期申込受付は終了)
第3期 7月(第3期申込受付中~6/26)
第4期 10月(第4期申込は9月1日~)
第5期 11月
第6期 12月
【受講料】 8,250円

- 産業廃棄物処理 現場業務 eラーニング講座
(受講期間約1か月間)
令和5年度
①収集運搬現場業務コース ②中間処理現場業務コース ③最終処分現場業務コース
第1期 8月3日(木)~8月29日(火)
第2期 9月5日(火)~9月27日(水)
【受講料】 4,400円(1コース)
【申込開始】 7月3日(月)~

3. (一財) 日本環境衛生センター

- 廃棄物処理施設技術管理者講習
令和5年度は7コースあります。一部eラーニング講習も開催しています。
- 産業廃棄物等実務管理者(オンライン)講習(2日間のオンライン講習)
令和5年度
【日 時】 第1回9月20日(水)~9月21日(木) 13:30~16:30
第2回2月26日(月)~2月27日(火) 13:30~16:30
【申込開始】 申込受付開始
【参加費】 19,800円
- 廃棄物処理法から学ぶ廃棄物処理の基礎研修
令和5年度
【日 時】 7月10日(月) 10:00~16:30
【会 場】 福岡県大野城市(オンライン受講可)
【参加費】 17,600円
- 技術管理者等スキルアップ研修会
令和5年度
①ごみ処理関係 ②最終処分場関係 ③し尿・汚泥再生処理関係
対面研修は福岡会場、岡山会場(詳しくは日本環境衛生センターHPにて)

インターネット研修(オンデマンド配信)
【配信期間】 令和6年1月22日(月)~3月8日(金)
【受講料】 (一般)16,500円、(会員)14,300円



社会保険労務士
今井正美

第14次労働災害防止計画について

Q 年度当初、労災防止の研修内容や健康診断の日程、災害時の避難訓練等について安全衛生委員会で年間計画を策定し、この計画に沿って実施しているところですが、毎年、同じ内容の繰り返しになっていて、今年度も労働災害が発生してしまいました。国の労働災害防止計画も改定されたと聞いており、それを参考に今後新たな取組を取り入れたいと思っているので、計画のポイントを教えてください。

A 労働災害防止計画とは

労働安全衛生法（第6条）に基づき、労働災害の防止に関し基本となる目標、重点課題等を厚生労働大臣が定める5か年計画。戦後の高度成長期における産業災害や職業性疾病の急増を踏まえ、1958年に第1次の計画が策定されて以降、社会経済の情勢や技術革新、働き方の変化等に対応しながら、これまで13次にわたり策定されてきました。今回の計画は令和5年(2023年)4月1日から令和10年(2028年)3月31日までの第14次の労働災害防止計画になります。

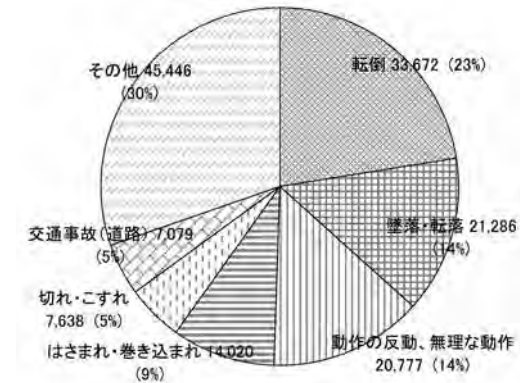
1 第13次労働災害防止計画（平成30年度から令和4年度）における労働災害の発生状況等

- (1) 労働災害による死亡者数（以下「死亡者数」という。）を15%減とする計画目標（平成29年度978名から令和4年度831名）達成 ⇒ 令和4年度710名で27.4%減(新型コロナウイルス患による者を除く)
- (2) 労働災害による休業4日以上之死傷者数（以下「死傷者数」という。死傷者数は死亡者数を含む。）を5%減とする計画目標（平成29年度120,460名から令和4年度114,437名）未達成 ⇒ 令和4年度119,239名（新型コロナウイルス患による者を除く）で1%減

(3) 死傷者数が計画目標未達成となった主な要因

- ① 全年齢に占める60歳以上の高年齢労働者の割合が増加（令和3年では約2割）高年齢労働者は身体機能の低下等により労働災害発生率（死傷年千人率）が高い。
- ② 中高年齢の女性を始めとして、作業行動に伴う転倒等の割合が増加
転倒等作業行動に起因する労働災害は、機械設備等に起因する労働災害と比較して、対策のノウハウが蓄積されていない。

※ 令和3年の死傷者数（事故の型別：労働者死傷病報告）



- ③ 中小企業や第三次産業における安全衛生対策の取組が進んでいない。
厳しい経営環境等様々な事情で、安全衛生対策の取組が遅れている状況がある。

(4) 職場における労働者の健康確保対策の状況

① メンタルヘルス対策

ア 精神障害等の労災認定件数は、令和3年度629件で過去最高

イ 小規模事業所におけるメンタルヘルス対策の取組は低調

メンタルヘルス対策に取り組む事業場の割合

- ・労働者50人以上の事業場⇒94.4%
- ・労働者30人～49人の事業場⇒70.7%
- ・労働者10人～29人の事業場⇒49.6%

② 産業保健活動

労働人口の約3人に1人が、何らかの病気を抱えながら働いており、一般的健康診断の有所見率は50%を超え、疾病リスクを抱える労働者は増加傾向

③ 過重労働の防止

労働時間は緩やかに減少、年次有給休暇取得率や勤務間インターナル制度の導入割合も増加傾向

(5) 化学物質等を起因とする労働災害の状況等

化学物質による労働災害発生状況（令和3年）

起因物	件数
有害物	156
爆発性の物等	13
可燃性のガス	38
爆発性の物等	16
その他の危険物、有害物	249
合計	472

化学物質の性状に関連の強い有害物との接触、爆発、火災等によるものが年間（令和3年）約500件発生し、減少が見られない。また、石綿使用建築物の解体は2030年頃にピークを迎え、更なる石綿ばく露防止対策の確保・推進が必要となる。

2 第14次労働災害防止計画の概要

(1) 計画の方向性

- ① 事業者の安全衛生対策の促進と社会的に評価される環境の整備を図っていく。そのために、厳しい経営環境等さまざまな事情があったとしても、安全衛生対策に取り組むことが事業者の経営や人材確保・育成の観点からもプラスであることを周知する。
- ② 転倒等の個別の安全衛生の課題に取り組んでいく。
- ③ 誠実に安全衛生に取り組まず、労働災害の発生を繰り返す事業者に対しては、厳正に対処する。

(2) 重点対策

- ① 自発的に安全衛生対策に取り組むための意識啓発（社会的に評価される環境整備ほか）
- ② 労働者（中高年齢の女性を中心）の作業行動に起因する労働災害防止対策の推進
- ③ 高年齢労働者の労働災害防止対策の推進
- ④ 多様な働き方への対応や外国人労働者等の労働災害防止対策の推進
- ⑤ 個人事業主等に対する安全衛生対策の推進
- ⑥ 陸上貨物運送業、建設業、製造業等業種別の労働災害防止対策の推進
- ⑦ 労働者の健康確保対策の推進（メンタルヘルス、過重労働、産業保健活動）
- ⑧ 化学物質等による健康障害防止対策の推進

(3) 死亡災害・死傷災害の指標

- ① 死亡災害については、2022年度と比較して、2027年度までに5%以上減少する。
- ② 死傷災害については、2021年度までの増加傾向に歯止めをかけ、死傷者数については、2022年度と比較して2027年度までに減少に転ずる。

(4) 主な具体的取組例

① 自発的に安全衛生対策に取り組むための意識啓発

健康経営の実施⇒健康経営とは、従業員の健康増進を重視し、健康管理を経営課題として捉え、その実践を図ることで従業員の健康の維持・増進と会社の生産性向上を目指す経営手法のこと。安全かつ安心して働くことができる職場づくりは、「コスト」ではなく「人的投資」という考え方

- ・ 労働者の安全と健康を守る。
- ・ 労働災害に伴う生産設備の停止や各種費用による経済的損失を回避（軽減）
- ・ 人材の確保・育成を始めとする組織の活性化、業績向上、（社会的）価値の向上

ステークホルダーとの関係における「健康経営」のメリット



② 作業行動に起因する労働災害防止対策

ア 転倒災害防止対策

転倒災害は、加齢による骨密度の低下が顕著な中高年齢の女性をはじめとして極めて高い発生率となっており、対策を講ずべきリスクであることを認識し、その取組を進める。

- ・ 転倒しにくい環境づくり
 - ハード面 ⇒ 段差の解消・見える化、通路や作業場所の床の水等の拭き取り、整理整頓の徹底等
 - ソフト面 ⇒ 転倒リスクチェックの実施とその結果を踏まえた運動プログラムの導入、骨粗しょう症検診の受診勧奨等

イ 腰痛災害防止対策

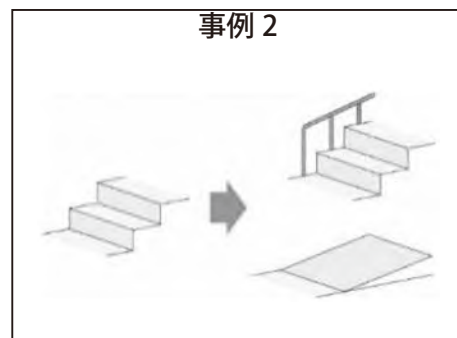
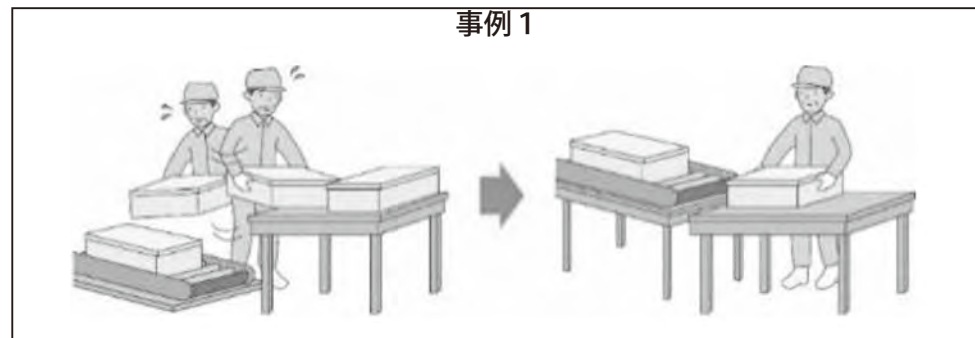
- ハード面 ⇒ リフターや自動搬送装置、重量物注意の警告表示等
- ソフト面 ⇒ 作業に見合った始業前の腰痛予防体操の実施、身体の負担軽減のための技術の習得等

③ 高年齢労働者の労働災害防止対策

「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」（エイジフレンドリーガイドライン）を踏まえた対策

エイジフレンドリーガイドラインとは、高齢者を現に使用している事業場やこれから使用する予定の事業場で、事業者と労働者に求められる取組を具体的に示したもの。

- ア 経営トップ自ら安全衛生方針を表明し、担当組織・担当者を指定、リスクアセスメントの実施
- イ 身体機能の低下を補う設備・装置の導入、高年齢労働者の特性を考慮した作業管理、勤務形態等の工夫
- ウ 健康測定等により、事業者、高年齢労働者双方が健康や体力の状況を客観的に把握
- エ 把握した状況に応じて適合する業務をマッチング、身体機能の維持向上への取組
- オ 写真や映像等の情報を活用した安全衛生教育、経験のない業種や業務に従事する場合の丁寧な教育訓練



④ 労働者の健康確保対策

- ア 「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」（令和4年3月改訂）等の周知啓発を強化
- イ 「過重労働による健康障害を防止するため事業者が講ずべき措置」（平成18年3月17日付基発第0317008号）に基づき、以下の措置を行う。
 - ・ 時間外・休日労働時間の削減、労働時間の状況の把握、健康確保措置等

- ・ 年次有給休暇の確実な取得の促進
- ・ 勤務間インターバル制度の導入 等

ウ 産業保健総合支援センター及び地域産業保健センターを通じた、小規模事業場におけるメンタルヘルス対策の支援

⑤ 化学物質等による健康障害防止対策

- ア 従来の個別規制に加えて、国によるGHS分類で危険・有害性が確認されたすべての化学物質について、危険性・有害性の伝達（譲渡・提供時のラベル表示・SDS表示）
- イ 保護具の適正な選択及び使用の徹底

⑥ 熱中症対策

職場での熱中症により毎年約20人が亡くなり、約600人が4日以上仕事を休んでいる。⇒「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン」(5月1日～9月30日)

- ア 作業場所の暑さ指数（気温に加え、湿度、風速、輻射熱を考慮した総合的な値）を測定し、暑さ指数低減のために、屋根、休憩場所、通風・冷房設備を設置
- イ あらかじめ労働衛生教育を行い、管理体制を整え、発症時・緊急時の措置を確認、周知する。
- ウ 労働者に日常の健康管理を意識、暑熱順化、定期的に水分・塩分を摂取、異変を感じたら躊躇なく周囲の者に申し出をさせる。

【参考資料】 第14次労働災害防止計画（令和5年3月：厚生労働省）

第14次労働災害防止計画の概要（パワーポイント資料：厚生労働省）ほか

表紙の言葉

●今月の写真：[コミュニティバス] 区内循環バス「すみだ百景」（墨田区）

墨田区は、国内外からの大勢の観光客が区内回遊を楽しむ際の「案内役」として、また、区民が生活の中で利用する身近な交通手段として、平成24年3月に区内循環バスの運行を開始しました。区民の提案や投票をもとに「すみだ百景 すみまろくん、すみりんちゃん」の愛称名がつけられています。運行ルートは北西部、北東部、南部ルートの3つがあり、車体は、それぞれにシンボルカラー（茜色、若草色、江戸紫）とデザインが施されています。また、スカイツリーを車内から見上げることができるよう、天井にガラス窓がついているなど、内部にも楽しい工夫がされているようです。

●参照：墨田区HP <https://www.city.sumida.lg.jp/kurashi/jyunkanbus/index.html>

●撮影者：塩沢美樹（機関誌編集担当）

慣れた作業の隠れたリスク。初心忘れず指差呼称

令和4年度 安全衛生標語コンクール 安全衛生推進委員会 佳作受賞作品
(一社) 東京都産業資源循環協会

身近なヒヤリ・ハット事例 Part 169

	何処で	何をしている時	何がどうした	改善事項
1	水処理設備で	薬液ポンプを交換していた時	薬液ポンプを取り外し塩ビ配管をもう一人の作業員が持ち上げた時、残っていた塩酸が自分にかかりそうになった。	薬液ポンプの取り外し時、薬液が塩ビ配管の中に残っていないか液抜き(バルブ開)を徹底する。
2	場内で	廃棄物のサンプルの容器を拭いている時	まだサンプル(廃棄物)が触れていない容器であったため、素手で拭いていたところ、ふちの鋭い場所を手を切りそうになった。	怪我から身を守るために内容物にかかわらず手袋着用を徹底する。
3	岸壁で	舳を保管施設へ入れるため、ロープを投げる時	舳の位置が遠く、岸壁上からロープを投げるとき勢いが余り、体が振られ落水の危険を感じた。	舳があまりに離れている場合、無理にロープは投げず、船で岸壁に寄せてもらう。 岸壁から1m距離をおいた内側に立ってロープの受け渡しをする。
4	事務所内で	廃棄物のサンプルを小分けしている時	サンプルが飛散して廃棄物が自分にかかりそうになった。	手袋・保護メガネの着用を徹底する。
5	事務所内で	100V コンセント増設の作業をしている時	作業のために事務所内のブレーカーを切ったが、検電器で確認をしてみたら電気が流れている箇所があった。	作業前には全作業箇所を確認することを徹底する。 ブレーカーと配線に番号表示をつける。
6	ストックヤードで	サンダーの刃を交換している時	サンダーの電源コードをコンセントから抜いて刃を交換し、再度コンセントに入れ直したところ、スイッチがONになっていたため突然刃が回りだした。	刃の交換時は必ずスイッチをOFFにする。また、スイッチがOFFになっていることをきちんと確認してから作業する。

「ヒヤリ・ハット」の事例がございましたら、協会までお寄せください。



事務局だより

毎日何回も、暑い、暑い、と言っていないですか。言ったからといって涼しくなるわけではないけど、つい、言ってしまう。

僕は、駅のホームやベンチなどでは、カバンの中から木と紙でできた扇子を取り出して、パタパタとあおいでいます。扇ぐために腕を動かすのに必要なエネルギー量と、涼しくなることで体から失われるエネルギー量との差はどのくらいだろうと考えながら。

一方、周りの人、特に若い人を見ていると、プラスチック製の羽根とカバーでできた小型扇風機を手にして、顔などに心地よさそうな風を送っています。得られる風のエネルギーはリチウムイオン電池に蓄積された電気エネルギーが変換されている、と思いながらそれを眺めています。

そして、その小型扇風機はいつまで使われるのか、その間の電気量はどのくらいか、その際に排出された二酸化炭素の量はどれだけか、その二酸化炭素量がどのくらい地球の温度をさらに上昇させるのか、使用を終えたときにどう捨てられるのか、ちゃんと他のごみと分けて発火しないよう気を使って廃棄してくれるだろうか、と考えてしまいます。

暑中見舞いを読んで、涼しさを求める気持ちを共有しましょう。

熱中症に気をつけて、暑い夏を乗り切りましょう。

(え? 短い?)

では、ここで問題です。

Q1 「扇子」と「扇」の違いについて述べよ。

Q2 「羽根」と「羽」の違いについて述べよ。

(K)

編集後記

白井エコセンター白井徹代表が、逝去されました。心からお悔やみを申し上げます。

白井さんは、青年部の3代目部長として精力的に活躍なされ、その明るいお人柄と唯一無二のユニークなセンスをもって、協会の発展に大きく貢献されました。

今年、青年部が30周年を迎え、その記念事業を10月に浅草で催すために、白井さんはじめOBと現役幹部が集まって準備を進めている中での突然の訃報でした。

ここで、青年部発足の経緯について、協会10年史の記述を紹介します。「経営改善委員会と広報委員会共同で開催した若手経営者の座談会をきっかけとして、現在の産廃業界を取り巻く極めて厳しい状況の中で、若手経営者及び若手幹部が結集し、定期的に勉強会を開き、若いエネルギーと行動力をもって協会活動の活性化に寄与し、産業廃棄物の適正処理に当ることになった。この趣旨に基づき、平成6年4月22日渋谷万葉会館において、青年部発会式が開催された。」

草創期に活躍した方の中には、残念ながら他界なされた方が居られ、時の流れを感じます。碩孝光さん、須田茂治さん、泉昌夫さん、塩貝忍さん、皆さん、発足の当時より長きに渡り協会活動に大きく貢献してこられました。

振り返ると、時代の変化に合わせて、その時に必要とされることへ、誠実に熱心に取り組んで来られたと思います。

当時から現在まで一貫しているのは、「人を育て、仲間をつくる」という点だと思います。青年部では、常時新人の入会を受け付けています。ご興味のある方は、先ずは一度、オブザーバーとしてでも参加なさってはいかがでしょうか。(森)

とうきょうさんばい

第40巻第5号通巻第395号

令和5年8月1日発行

発行人
企画・編集
発行

鈴木宏和
広報委員会

一般社団法人 東京都産業資源循環協会

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-9-13 柿沼ビル7F

TEL 03(5283)5455(代表) FAX 03(5283)5592

https://tosankyo.or.jp

E-mail:info@tosankyo.or.jp

暑中お見舞い申し上げます

2023年 盛夏



会長

(株)京葉興業

代表取締役 鈴木 宏 和

東京都江戸川区篠崎町1-2-6
電話 03-3678-0111

常任理事

(株)ハチオウ

代表取締役 森 雅 裕

東京都墨田区本所4-29-2
電話 03-3837-8080

副会長

(株)三凌商事

代表取締役社長 赤石 賢 治

東京都町田市木曾東1-34-6
電話 042-726-2647

常任理事

東京ボード工業(株)

代表取締役社長 井上 弘 之

東京都江東区新木場2-11-1
電話 03-3522-4139

副会長

成友興業(株)

代表取締役 細 沼 順 人

東京都あきる野市草花1141-1
電話 042-558-4111

理事

(株)太陽油化

代表取締役 石 田 太 平

東京都板橋区三園2-12-2
電話 03-3938-0022

副会長

(株)五十嵐商会

代表取締役 五十嵐 和 代

東京都練馬区三原台2-1-27
電話 03-3922-7547

理事

(株)東京スタンドサービス

代表取締役 有 吉 嘉 一 郎

東京都三鷹市新川2-14-25
電話 0422-46-2494

副会長

加藤商事(株)

代表取締役社長 加 藤 宣 行

東京都東村山市恩多町1-12-3
電話 042-392-1001

理事

東港金属(株)

代表取締役 福 田 隆

東京都大田区京浜島2-20-4
電話 03-3790-1751

常任理事

大谷清運(株)

代表取締役 二 木 玲 子

東京都葛飾区水元1-3-13
電話 03-3600-5561

理事

高俊興業(株)

代表取締役社長 高 橋 潤

東京都中野区新井1-11-2
電話 03-3389-8111

暑中お見舞い申し上げます

2023年 盛夏



理事

(株)都市環境エンジニアリング

代表取締役社長 新 川 研

東京都江東区木場5-6-35
電話 03-5639-0740

正会員

相田化学工業(株)

代表取締役 相 田 英 則

東京都府中市南町6-15-13
電話 042-368-6311

理事

比留間運送(株)

代表取締役 比 留 間 宏 明

東京都武蔵村山市中央2-133-1
電話 042-565-1336

正会員

(株)IWD

代表取締役 前 迫 静 美

神奈川県海老名市大谷北2-1-46
電話 046-235-6000

理事

丸順商事(有)

代表取締役 矢 部 要

東京都羽村市富士見平2-1-14
電話 042-554-2229

正会員

(株)アクアホーム

代表取締役 安 保 貴 史

東京都武蔵野市吉祥寺本町1-10-7
電話 0422-27-6279

監事

(有)スリーシープランニング

代表取締役 山 下 智 栄 子

東京都品川区南品川3-6-31
電話 03-5769-0157

正会員

(株)朝田商会

代表取締役 真 田 一 伸

東京都千代田区丸の内3-4-1
電話 03-3213-9451

正会員

(有)アーク

代表取締役 志 賀 教 夫

埼玉県吉川市保1-4-7
電話 048-984-7987

正会員

アトラス商事(株)

代表取締役 上 田 淳

神奈川県川崎市宮前区小台2-16-2
電話 044-750-9295

正会員

(株)アーバンサービス

代表取締役社長 榎 田 利 光

神奈川県横浜市中区新山下3-7-24
電話 045-628-7888

正会員

(有)アベマキ

代表取締役 阿 部 真 樹

東京都足立区東和2-24-17
電話 03-5697-6642

暑中お見舞い申し上げます

2023年 盛夏



正会員

有明興業(株)

代表取締役 松岡和人

東京都江東区若洲2-8-25
電話 03-3522-1911

正会員

(株)ウチダ

代表取締役 内田一二三

埼玉県ふじみ野市駒林18
電話 049-263-9777

正会員

(株)アルフォ

代表取締役社長 熊木浩

東京都千代田区永田町2-4-3永田町ビル
電話 03-5157-2300

正会員

浦野産業(株)

代表取締役 浦野太嗣

東京都あきる野市原小宮2-3-36
電話 042-558-9563

正会員

(株)アンカーネットワークサービス

代表取締役 CEO 碓隆司

東京都葛飾区新宿3-9-15
電話 03-3600-5873

正会員

栄和清運(株)

代表取締役 花形匡晃

東京都杉並区堀ノ内2-11-32
電話 03-3317-2281

正会員

(株)市川環境エンジニアリング

代表取締役社長 水谷重夫

千葉県市川市田尻2-11-25
電話 047-376-1711

正会員

永和鉄鋼(株)

代表取締役 永井健

東京都西多摩郡瑞穂町長岡3-6-9
電話 042-556-2121

正会員

市川燃料チップ(株)

代表取締役 彦坂裕一

東京都江戸川区平井3-23-17
電話 03-3636-3280

正会員

栄和リサイクル(株)

代表取締役 金城虎一

東京都新宿区西早稲田2-9-16
東急ドエルアルス早稲田2F
電話 03-5273-4446

正会員

(株)一不二総業

代表取締役 齋藤和行

東京都千代田区九段南4-2-9
シルキーハイツ九段南701
電話 03-5226-5057

正会員

(株)エコ・クリーン

代表取締役 霜鳥純昭

東京都足立区西新井4-31-5
電話 03-5879-2934

暑中お見舞い申し上げます

2023年 盛夏



正会員

エコシステムジャパン(株)

代表取締役常務 辻本健二

東京都千代田区外神田4-14-1
電話 03-6847-7010

正会員

(株)遠藤商会

代表取締役 遠藤孝一

東京都小平市小川町2-2045-3
電話 042-344-5957

正会員

(株)エコ・ファクトリー

代表取締役 有田一成

東京都稲城市大丸1434-3
電話 042-379-0013

正会員

オーエム通商(株)

代表取締役 岡村睦夫

東京都八王子市小津町106-1
電話 042-651-2717

正会員

エコロジャパン(株)

代表取締役 湯田隆宏

事業部 埼玉県草加市柳島町830-1
電話 048-929-8221

正会員

大久保興業(株)

代表取締役 大久保憲

東京都府中市南町2-38-8
電話 042-351-3333

正会員

(株)エコワスプラント

代表取締役 浅尾洋和

東京都西多摩郡日の出町平井22-10
電話 042-597-1115

正会員

(株)大空リサイクルセンター

代表取締役 和田敏之

東京都武蔵村山市伊奈平5-43-6
電話 042-560-5717

正会員

NKリサイクル(株)

代表取締役社長 小橋克史

東京都西多摩郡瑞穂町大字二本木字東樽ノ口429-1
電話 042-557-7558

正会員

太田商事(株)

代表取締役 太田敦子

東京都府中市四谷5-13-14
電話 042-368-3800

正会員

(株)エバーグリーンライン

代表取締役 比嘉良弘

神奈川県川崎市川崎区貝塚1-1-5
電話 044-221-6570

正会員

オオノ開発(株)

取締役営業部長 朝日健二

東京都千代田区丸の内1-6-1
丸の内センタービルディング4F
電話 03-6205-7291

暑中お見舞い申し上げます

2023年 盛夏



正 会 員

OKACON (株)

代表取締役 岡 彦 吉

東京都墨田区江東橋4-26-5
東京トラフィック錦糸町ビル南館9階

電話 03-3635-5621

正 会 員

東証スタンダード上場

(株)要興業

代表取締役 木 納 孝

東京都豊島区池袋2-14-8 池袋NSビル

電話 03-3986-5341

正 会 員

(株)オネスト

代表取締役 矢 作 将 彦

東京都江東区新木場4-3-26

電話 03-3522-5300

正 会 員

(株)カネダ

代表取締役社長 金 田 隆

東京都大田区本羽田1-26-16

電話 03-3742-2161

正 会 員

(株)小野組

代表取締役 小 野 誠

東京都江戸川区東小松川3-26-7

電話 03-3654-7367

正 会 員

(株)カネテツ

代表取締役 阿 部 正 二

東京都足立区入谷9-5-10

電話 03-3899-1100

正 会 員

鹿島環境エンジニアリング(株)

代表取締役社長 新 川 隆 夫

東京都港区元赤坂1-5-31 新井ビル

電話 03-3746-7681

正 会 員

(株)川上商店

代表取締役社長 有 田 一 成

東京都稲城市大丸1462-2

電話 042-379-0011

正 会 員

(株)加藤商事

代表取締役 加 藤 慎 次 郎

東京都狛江市東野川2-14-2

電話 03-3480-5111

正 会 員

(株)カワサキ商会

代表取締役 川 崎 秀 樹

千葉県市川市日之出21-1-643

電話 047-369-6126

正 会 員

(有)金井商会

代表取締役 横 山 茂

東京都町田市金井町2563

電話 042-735-5677

正 会 員

(株)環境技研

代表取締役 能 登 祥 文

東京都板橋区板橋4-12-17

電話 03-3962-1771

暑中お見舞い申し上げます

2023年 盛夏



正 会 員

(株)環境システムサービス

代表取締役 加 藤 慎 次 郎

東京都八王子市横川町1076

電話 042-625-8120

正 会 員

(株)クマクラ

代表取締役社長 熊 倉 毅

埼玉県新座市畑中3-1-5

電話 048-479-0391

正 会 員

(株)環境整備

代表取締役 廣 田 健 史

東京都墨田区横川3-9-3

電話 03-3622-3081

正 会 員

クリーンサービス(株)

代表取締役 佐 藤 高 紀

東京都清瀬市旭が丘2-336-1

電話 042-491-9888

正 会 員

(株)環境テコム

代表取締役 高 橋 俊 夫

東京都板橋区仲宿27-3

電話 03-5943-2020

正 会 員

(株)クレハ環境

代表取締役社長 並 川 昌 弘

福島県いわき市錦町四反田30番地

電話 0246-63-1231

正 会 員

(株)木下フレンド

代表取締役 木 下 公 次

埼玉県所沢市東所沢和田3-1-10

電話 04-2944-3737

正 会 員

(株)グローブ産業

代表取締役 砂 本 一 也

東京都足立区小台1-23-9

電話 03-5284-8004

正 会 員

(有)峡南環境サービス

代表取締役 河 澄 秋 芳

山梨県南アルプス市戸田916-18

電話 055-284-4543

正 会 員

(株)ケイ・エム環境

代表取締役 宮 田 仁 史

埼玉県吉川市大字三輪野江2300-1

電話 048-984-5101

正 会 員

(株)グーン

代表取締役社長 藤 枝 慎 治

神奈川県横浜市金沢区鳥浜町17-3

電話 045-769-2526

正 会 員

株式会社ケイズ

代表取締役 小 林 真 二

東京都昭島市田中町3-10-7

電話 042-519-5222



正 会 員

株式会社 敬隣舎

代表取締役社長 鈴木 允 晴

東京都板橋区小茂根 4 - 2 - 1
電話 03 - 3958 - 0501

正 会 員

(株)こばやし産業

代表取締役 小林 大 丈

埼玉県朝霞市上内間木 3 1 7 - 5
電話 048 - 456 - 1151

正 会 員

(株)工 運

代表取締役 高 橋 雄 一

東京都大田区矢口 1 - 2 5 - 1 6
電話 03 - 3759 - 7211

正 会 員

(株)駒 形

代表取締役 黛 互

東京都江戸川区南篠崎町 3 - 2 - 4 逸見ビル 201
電話 03 - 6638 - 3313

正 会 員

(株)コーエイクリーン

代表取締役 渡 部 潤 也

埼玉県八潮市木曾根 5 4 6 - 1
電話 048 - 994 - 1153

正 会 員

(株)小見山商事

代表取締役 小 見 山 銀 蔵

埼玉県狭山市広瀬台 2 - 7 - 3
電話 04 - 2953 - 8841

正 会 員

(株)光洲産業

代表取締役 光 田 栄 吉

神奈川県川崎市高津区久地 4 - 1 0 - 1 1
電話 044 - 822 - 0795

正 会 員

(有)権田商事

代表取締役 権 田 秀 之

東京都大田区羽田旭町 1 - 1 6
電話 03 - 3745 - 3083

正 会 員

甲陽興産(株)

代表取締役 北 角 治 太

東京都千代田区内神田 2 - 1 1 - 6
喜助内神田ビル7F
電話 03 - 6206 - 0533

正 会 員

栄運輸(株)

代表取締役 鈴 木 尚 紀

東京都葛飾区水元 1 - 2 2 - 5 6
電話 03 - 3609 - 2840

正 会 員

コスモ理研(株)

代表取締役 山 内 一 真

東京都台東区柳橋 1 - 1 4 - 6
電話 03 - 5820 - 1229

正 会 員

相模原紙業(株)

代表取締役 鈴 木 雅 男

神奈川県相模原市中央区南橋本 1 - 1 8 - 1 5
電話 042 - 773 - 3508



正 会 員

(株)完山金属

代表取締役 完 山 一 範

東京都八王子市館町 4 6 8 - 2
電話 042 - 661 - 4408

正 会 員

J & T環境(株)

代表取締役 露 口 哲 男

川崎本社 神奈川県川崎市幸区堀川町 5 8 0
ソリッドスクエア東館9F
電話 044 - 330 - 9480

正 会 員

三光(株)

代表取締役社長 三 輪 昌 輝

鳥取県境港市昭和町 5 - 1 7
電話 0859 - 44 - 5367

正 会 員

シグマテック株式会社

代表取締役 深 江 伯 史

東京都中央区日本橋富沢町 5 - 4
電話 03 - 5651 - 2201

正 会 員

三東運輸(株)

代表取締役 田 口 裕 康

東京都江戸川区篠崎町 3 - 1 2 - 6
電話 03 - 3670 - 3101

正 会 員

品川運輸(株)

代表取締役 毛 塚 久 恵

東京都品川区東大井 2 - 1 - 8
電話 03 - 3761 - 0165

正 会 員

(株)JRS

代表取締役 鷹 取 賢

東京都昭島市大神町 4 - 1 1 5 2
電話 042 - 546 - 2101

正 会 員

ジャパンウエイスト(株)

代表取締役社長 中 西 広 幸

東京都中央区日本橋茅場町 2 - 1 2 - 1 0
PMO EX 日本橋茅場町 8F
電話 03 - 6661 - 2327

正 会 員

(株)JR東日本環境アクセス

代表取締役社長 向 山 路 一

東京都台東区東上野 3 - 4 - 1 2
電話 03 - 3836 - 1551

正 会 員

(株)首都圏環境美化センター

代表取締役 齊 京 由 勝

東京都足立区入谷 9 - 2 1 - 1 9
電話 03 - 3856 - 8144

正 会 員

JX金属高商(株)

代表取締役社長 齋 藤 昭 夫

東京都中央区日本橋 3 - 2 - 5
電話 03 - 6433 - 6900

正 会 員

(株)昌和プラント

代表取締役 廣 木 直 江

本 社 神奈川県横浜市中区万代町 2 - 3 - 1
電 話 045 - 681 - 9027
厚木工場 神奈川県愛甲郡愛川町中津 6 9 5 7
電 話 046 - 285 - 8111

暑中お見舞い申し上げます

2023年 盛夏



正会員

白井運輸(株)

代表取締役 白井 護

東京都足立区鹿浜3-28-7
電話 03-3897-1331

正会員

(株)スイーピングサービス

代表取締役 田邊 昌志

東京都あきる野市瀬戸岡360-1
電話 042-597-6111

正会員

(株)シンシア

代表取締役社長 増田 洋介

東京都品川区南大井6-26-3
大森ベルポートD館6F
電話 03-3764-5300

正会員

S.P.E.C.(株)エコレ城南島

取締役場長 佐々木 浩志

東京都大田区城南島3-2-8
電話 03-5755-9884

正会員

(有)新城重機

代表取締役 新城 敬太

東京都武蔵村山市伊奈平1-59-1
電話 042-520-7245

正会員

(株)関商店

代表取締役 吉田 潤

埼玉県久喜市久喜中央1-10-11
電話 0480-23-5558

正会員

(株)新東京開発

代表取締役 林 伸孝

千葉県松戸市常盤平陣屋前3-21
電話 047-383-5353

正会員

(株)全公研

代表取締役 松田 智之

東京都江東区南砂1-6-11
電話 03-3649-8061

正会員

(株)伸和運輸

代表取締役 宮崎 琢朗

東京都世田谷区船橋7-20-14
電話 03-3482-8475

正会員

仙台環境開発株式会社

代表取締役 櫻井 慶

(東京営業所)
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル2F
電話 03-5215-5004

正会員

新和環境(株)

代表取締役 梁川 哲

東京都新宿区西早稲田2-21-12
電話 03-3208-5047

正会員

総合商社桂商店(株)

代表取締役 桂 義雄

千葉県千葉市若葉区大宮町1959-2
電話 043-309-4111

暑中お見舞い申し上げます

2023年 盛夏



正会員

(株)第一建設

代表取締役 松本 秀昭

東京都福生市大字熊川1438-10
電話 042-552-3021

正会員

(有)高興

代表取締役 石川 市郎

東京都八王子市高月町515
電話 042-691-1919

正会員

第一輸送(株)

代表取締役 篠原 周治

東京都足立区加賀1-12-9
電話 03-3855-0188

正会員

鷹取建材(株)

代表取締役 鷹取 賢

神奈川県相模原市緑区川尻5218-1
電話 042-783-0773

正会員

大興運輸倉庫(株)

代表取締役 片山 饒

東京都江東区枝川2-7-8
電話 03-5653-0700

正会員

(株)貴藤

代表取締役 池ノ谷 新吾

東京都昭島市拝島町3-1-3
電話 042-545-6027

正会員

第三東海(株)

代表取締役 仙頭 宏史

東京都千代田区神田神保町1-2
電話 03-3292-0135

正会員

(株)タケエイ

代表取締役社長 阿部 光男

東京都港区芝公園2-4-1 A-10F
電話 03-6361-6830

正会員

(株)大東運輸

代表取締役 小林 剛顕

東京都江東区新木場2-14-1
電話 03-3521-7311

正会員

(株)調布清掃

代表取締役 梶原 良介

東京都調布市深大寺東町5-8-1
電話 042-485-1166

正会員

(株)高木造園

代表取締役 高木 久隆

東京都あきる野市野辺399-7
電話 042-559-3803

正会員

千代田鋳砕(株)

代表取締役 伊藤 公一

千葉県柏市風早2-3-6
電話 04-7192-2150



正会員

都築鋼産(株)

代表取締役社長 都 築 基

東京都足立区新田1-10-19
電話 03-3914-8511

正会員

(株)東京クリアセンター

代表取締役社長 熊 木 浩

東京都千代田区永田町2-4-3
永田町ビル9F
電話 03-5157-1881

正会員

TML(株)

代表取締役 青 山 貴 好

東京都大田区京浜島2-19-10
電話 03-3790-2882

正会員

東京産資源(株)

代表取締役 塩 入 春 孝

東京都江東区東砂5-14-17
電話 03-3645-6131

正会員

ティー・ビー・ロジスティックス(株)

代表取締役 相 川 和 政

埼玉県八潮市大字浮塚100番地
電話 048-994-1311

正会員

公益財団法人 東京都環境公社

理事長 小 川 謙 司

東京都墨田区江東橋4-26-5
東京トラフィック錦糸町ビル8F
電話 03-3644-2189

正会員

(株)TOAシブル

代表取締役 安 池 慎 一 郎

千葉県八千代市上高野1728-5
電話 047-485-7189

正会員

東京トリムテック(株)

代表取締役 最 上 修

東京都品川区西五反田1-25-1
電話 03-3492-3430

正会員

東京医療クリーン事業協同組合

代表理事 宮 田 喜 代 美

東京都豊島区西池袋2-29-19
電話 03-3590-8000

正会員

(有)東京研り

代表取締役 上 杉 大 樹

東京都江戸川区松江4-17-3-307
電話 03-3652-5042

正会員

東京エコリサイクル(株)

代表取締役社長 志 田 勝 巳

東京都江東区若洲2-8-21
電話 03-3522-6690

正会員

東京パワーテクノロジー(株)

代表取締役社長 塩 川 和 幸

東京都江東区豊洲5-5-13
電話 03-6372-7000



正会員

東京レンタルリング協同組合

代表理事 徳 田 昌 彦

東京都墨田区東墨田1-9-1
電話 03-3619-5516

正会員

(株)トリデ

代表取締役 佐 藤 英 生

本社 東京都府中市西原町4-17-53
事務所 東京都国立市泉3-28-1
電話 042-576-9750

正会員

東都運業株式会社

代表取締役 酒 井 大 作

東京都葛飾区奥戸3-23-28
電話 03-3696-4611

正会員

内藤産業(株)

代表取締役 内 藤 信 也

東京都町田市小野路町2324-1
電話 042-734-0538

正会員

(株)東武クリエイティブ

代表取締役社長 垣 入 淳 樹

東京都足立区西伊興1-2-8
電話 03-3899-2251

正会員

(有)長岡商店

代表取締役 長 岡 秀 明

本社 東京都八王子市明神町2-10-15
電話 042-642-6373
上川営業所 電話 042-654-0564

正会員

東武清掃(株)

代表取締役社長 津 島 英 世

東京都足立区西伊興1-6-28
電話 03-3899-2004

正会員

中野運輸(株)

代表取締役 松 原 美 紀 子

東京都中野区丸山1-2-1
電話 03-3387-4356

正会員

(株)トキワ薬品化工

代表取締役 伊 丹 重 貴

神奈川県横浜市旭区上川井町376
電話 045-921-3264

正会員

(株)中村

代表取締役 戸 村 勝 秀

東京都杉並区上高井戸3-2-23
電話 03-3302-5156

正会員

(株)トベ商事

代表取締役 戸 部 智 史

東京都北区王子5-10-1
電話 03-5902-3202

正会員

中村産業(株)

代表取締役社長 中 村 英 生

東京都江東区豊洲6-6-6
電話 03-6633-0189

暑中お見舞い申し上げます

2023年 盛夏



正会員
那須興産(株)
代表取締役 柴 健 一
東京都板橋区高島平2-2-9
電話 03-5970-3825

正会員
日盛運輸(株)
代表取締役社長 宇田川 幸一
東京都江戸川区篠崎町3-1-11
電話 03-3678-1100

正会員
(株)ナンセイ
代表取締役 稲 福 誠
東京都江戸川区中葛西5-20-7
電話 03-3877-5026

正会員
(株)日成ストマック・トーキョー
代表取締役 畠 山 孟 賛
東京都江戸川区東葛西3-17-15
電話 03-5676-0555

正会員
(株)西商店
代表取締役 西 義 雄
東京都大田区池上6-28-5
電話 03-3754-2441

正会員
日晴ビジネス(株)
代表取締役 永 井 剛
東京都文京区本郷5-24-3
電話 03-5800-2626

正会員
西東京医師協同組合
理事長 子 田 純 夫
東京都立川市柴崎町3-16-11
電話 042-524-6411

正会員
日曹金属化学(株)
代表取締役社長 赤 川 彰 一
東京都中央区日本橋兜町2-1-7
電話 03-4586-7892

正会員
日栄産業(株)
代表取締役社長 吉 本 花 子
東京都大田区京浜島3-5-2
電話 03-3790-7400

正会員
日東消毒(株)
代表取締役 弓 座 一 臣
千葉県木更津市八幡台2-2-1
電話 0438-37-3595

正会員
日興サービス(株)
代表取締役 山 口 徹
埼玉県戸田市笹目北町1-4-19
電話 048-421-9431

正会員
日本衛生(株)
取締役社長 澤 谷 勇 一
東京都足立区入谷9-30-10
電話 03-3853-6061

暑中お見舞い申し上げます

2023年 盛夏



正会員
日本環境(株)
東京都港区芝3-15-15
櫻井ビル8F

正会員
日本メディカル・ウェスト・マネジメント(株)
代表取締役 金 原 暁 治
東京都港区芝1-15-14
電話 03-3798-4703

正会員
(株)日本協力
代表取締役会長 渡 辺 省 和 吾 章
代表取締役社長 川 上 和 章
東京都江東区潮見1-6-2
電話 03-3640-4777

正会員
野村興産(株)
代表取締役社長 藤 原 悌
東京都中央区日本橋堀留町2-1-3
ヤマトインターナショナル日本橋ビル
電話 03-5695-2530

正会員
(株)日本シューター
代表取締役 石 山 敏 彦
東京都千代田区神田駿河台2-9
電話 03-3518-8670

正会員
バイオエナジー(株)
代表取締役 盛 下 学
東京都中央区新川2-5-2
電話 03-5540-4225

正会員
日本スタンド鉱油(株)
代表取締役 長 瀬 英 次
東京都葛飾区柴又6-3-6
電話 03-3650-9767

正会員
(有)八栄興業
代表取締役 鵜 家 き よ
東京都西東京市芝久保町5-4-9
電話 042-465-5525

正会員
日本設備保全(株)
代表取締役 前 田 隆 幸
東京都稲城市坂浜1-02-5
電話 042-313-8300

正会員
(株)浜 田
常務取締役 東京支社長 小 林 政 彦
東京都新宿区四谷4-32-4
四谷4丁目32番4号ビル3F
電話 03-6459-1352

正会員
日本トリート(株)
代表取締役 白 井 淳 一 郎
東京都世田谷区上馬3-7-8
電話 03-3424-2020

正会員
(有)原島組
代表取締役 原 島 和 敏
東京都昭島市中神町1-14-6
電話 042-541-7875

正会員
(有)ビー・アイ・エル
代表取締役 **武藤 廣見**
東京都北区東田端 2-8-7
電話 03-3893-7480

正会員
(有)古川新興
代表取締役 **古川 幸司**
東京都府中市是政 3-65-1
電話 042-365-2231

正会員
株式会社日向興発
代表取締役 **前田 弘貴**
東京都新宿区西新宿 4-13-6
電話 03-5333-0283

正会員
(有)フロンティア
代表取締役 **小森 康一**
東京都足立区辰沼 2-17-7
電話 03-5613-8251

正会員
(株)福井商店
代表取締役 **赤羽 敏宏**
東京都千代田区内神田 2-4-2
電話 03-3252-3896

正会員
(株)ペエックス
代表取締役 **伊藤 伸夫**
東京都稲城市大丸 1481-3
電話 042-378-2121

正会員
富士建興(株)
代表取締役 **橋場 泰雄**
東京都千代田区九段北 1-14-13
電話 03-3265-2351

正会員
ベル・テック(株)
代表取締役 **鈴木 照明**
東京都江戸川区中央 3-6-14 三家第一ビル1F
電話 03-5879-5050

正会員
(株)フジ・トレーディング
代表取締役 **大羽 敬子**
東京都東大和市向原 4-29-9
電話 042-565-7722

正会員
(株)まごころ清掃社
代表取締役 **高野 正人**
東京都八王子市長房町 126-2
電話(フリーダイヤル)
0120-538-056

正会員
(株)藤原土建
代表取締役 **丸島 寛範**
東京都狛江市元和泉 3-6-13
電話 03-3488-5159

正会員
(株)マスヒロ
代表取締役 **榎 満和洋**
埼玉県三郷市早稲田 1-14-18
電話 048-957-7749

正会員
マスヒロ環境(株)
代表取締役 **増田 博之**
東京都西多摩郡瑞穂町長岡 2-5-2
電話 042-556-0308

正会員
村上工業(株)
代表取締役 **村上 隆秀**
東京都国立市西 2-20-6
電話 042-573-1395

正会員
(株)増渕商店
代表取締役 **増渕 千人**
東京都板橋区高島平 7-4-3 2F
電話 03-5968-4077

正会員
(株)明和運輸
代表取締役 **植田 毅**
東京都足立区宮城 1-6-12
電話 03-3911-6126

正会員
松田産業(株)
代表取締役社長 **松田 芳明**
東京都新宿区西新宿 1-26-2
電話 03-5381-0001

正会員
(株)山一商事
代表取締役 **松本 大輔**
東京都港区六本木 7-15-14
電話 03-3423-8113

正会員
(有)松村組
代表取締役 **松村 竜二**
東京都府中市日新町 5-3-3
電話 042-362-6700

正会員
山下産業(株)
代表取締役 **山下 栄雄**
山梨県北杜市須玉町若神子 5280
電話 0551-42-4848

正会員
松村ダスト(有)
代表取締役 **松村 博文**
東京都あきる野市館谷 251-1
電話 042-596-4959

正会員
(株)ヤマゼン
代表取締役 **山崎 公信**
三重県伊賀市治田字榎ノ木 2441-1
電話 0595-39-9410

正会員
都清掃(株)
常務取締役 **吉野 猛彦**
東京都足立区佐野 1-28-10
電話 03-3606-0135

正会員
山大物産(株)
代表取締役 **山下 逸郎**
埼玉県新座市大和田 3-10-26
電話 048-481-3845

暑中お見舞い申し上げます

2023年 盛夏



正会員

山田設備工業(株)

代表取締役 山田 有司

東京都日野市大坂上2-2-7
電話 042-584-0879

正会員

(株)ワイエムエコフューチャー

代表取締役 加瀬 博章

埼玉県草加市青柳2-7-45
電話 048-933-3004

正会員

(有)屋満登興業

代表取締役 佐藤 圭一

東京都三鷹市野崎2-8-1
クラウンビル201
電話 0422-30-9185

正会員

(株)和光サービス

代表取締役 山田 邦光

千葉県白井市河原子327番地
電話 047-491-5305

正会員

(株)ヨシモリ

代表取締役 高橋 安繁

東京都足立区関原1-12-2
電話 03-3848-2345

正会員

和興テクノ(株)

代表取締役 村上 洋一

東京都千代田区外神田6-5-4
電話 03-6265-3920

正会員

(株)ヨドセイ

代表取締役 青柳 文夫

東京都豊島区東池袋2-38-20
電話 03-3985-8801

賛助会員

社会保険労務士・行政書士 今井まさみ事務所

代表 今井 正美

東京都足立区西新井3-5-1-310
電話 03-6807-1958

正会員

(株)リスト

代表取締役 遠藤 重雄

東京都国立市矢川3-23-11
電話 042-572-1300

賛助会員

株式会社 環境管理センター

上席執行役員 堀 宏一郎
営業本部長

東京都千代田区内神田2-14-4
内神田ビルディング3F
電話 03-6206-4321

正会員

(株)リノグレス

代表取締役 木村 清貴

東京都八王子市大谷町481
電話 042-660-0515

賛助会員

(株)環境と開発

代表取締役 田邊 陽介

東京都台東区上野5-15-14 9F
電話 03-6661-7174

暑中お見舞い申し上げます

2023年 盛夏



賛助会員

クリーントーキョウ協同組合

東京都千代田区神田淡路町2-10-14
電話 03-6811-7011

賛助会員

全国オイルリサイクル協同組合

理事長 安池 慎一郎

東京都中央区京橋2-6-6
電話 03-5250-5086

賛助会員

行政書士法人
産廃コンサルティング総合事務所

代表 北村 亨
特定行政書士

千葉県市川市市川1-22-10
電話 047-711-0847

賛助会員

(株)タウ 横浜支店

横浜支店長 御園生 啓寿

神奈川県横浜市中区相生町6-113
オーク桜木町ビル10F
電話 045-210-0215

賛助会員

行政書士 笹島総合事務所

代表 笹島 潤也
特定行政書士

東京都北区田端6-4-8
電話 03-5832-4670

賛助会員

(株)高見沢分析化学研究所

代表取締役 佐藤 英樹

埼玉県さいたま市桜区西堀6-4-28
電話 048-861-0288

賛助会員

サナート行政書士事務所

代表 下方 和美
特定行政書士

東京都千代田区霞が関3-7-1
霞が関東急ビル202
電話 03-6550-9497

賛助会員

一般社団法人 東京建物解体協会

会長 藤井 誠

東京都中央区八丁堀3-10-1 章山堂ビル401
電話 03-3551-1075

賛助会員

(株)JEMS

代表取締役 須永 裕毅

茨城県つくば市東新井31-13
電話 029-863-7215

賛助会員

DOWAエコシステム(株)

取締役 ウエステック事業部長 中村 達也

東京都千代田区外神田4-14-1
秋葉原UDX22F
電話 03-6847-1231

賛助会員

(株)ゼスト

代表取締役 白石 恭隆

東京都中央区銀座7-12-4 友野本社ビル8F
電話 03-6277-3477

賛助会員

トライシクル(株)

代表取締役 福田 隆

東京都品川区南大井6-26-3
大森ベルポートD館8F
電話 03-6410-8780

暑中お見舞い申し上げます

2023年 盛夏 

賛助会員

(株) ドラ E V E R

代表取締役 **岡野 照彦**
 東京都港区西新橋 3-1-5 西新橋JKビル2F
 電話 03-6371-4192

賛助会員

内藤環境管理(株)

代表取締役社長 **内藤 岳**
 埼玉県さいたま市南区大字太田窪 2051-2
 電話 048-887-2590

賛助会員

日建リース工業(株) 物流東京支店

支店長 **中澤 智道**
 東京都江東区新砂 1-6-35 JMFビル東陽町023F
 電話 03-4332-1357

賛助会員

日立建機日本(株)

東京支店支店長 **永野 大輔**
 埼玉県草加市弁天 5-33-25
 電話 048-935-7341

賛助会員

(株) 御池鐵工所

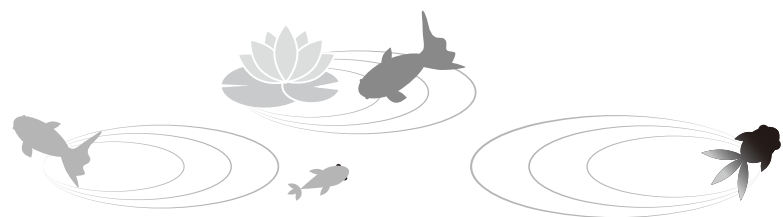
代表取締役 **小林 秀匡**
 広島県福山市神辺町川南 396-2
 電話 084-963-5500

一般社団法人 東京都産業資源循環協会

会長	鈴木 宏和
専務理事	鈴木 研二
事務局長	木村 尊彦
	佐伯 初美
	高野 清花
	高松 和泉
	深井 裕香
	小熊 朋恵
	中澤 宏子

広報委員会

委員長	森 雅裕
副委員長	吉本 花子
副委員長	大崎 秀也
	福田 隆彦
	吉野 猛治
	佐野 藤豊
	小林 麻子
	望月 伸一
	石野 伸一
機関誌編集担当	塩沢 美樹



PCBの処理期限までの全量廃棄を目指します PCBに関するあらゆる問題をワンストップで解決していきます

全数調査



選別調査



分析・運搬業務



申請サポート



解体や全数調査時に新たにPCB廃棄物が見つかる事例があります。
調査漏れが不安な方はお気軽にご相談ください。

北九州事業エリアで
処分期間後に発見された
高濃度PCB廃棄物
196件
(令和2年10月末現在)
環境省 <http://www.env.go.jp/recycle/poly/confis/tekisei/28pcb.html>

KATO 加藤商事株式会社
<http://www.katosyoji.tokyo>

未来の地球に持続可能な環境を創る企業

本社 〒189-0011 東京都東村山市恩多町1-12-3
 TEL: 042-392-1001 FAX: 042-394-1453
 赤坂営業所 〒107-0052 東京都港区赤坂4-4-14 未来環境創造ビル1F
 TEL: 03-6277-7187 FAX: 03-6277-7197

一般社団法人日本PCB全量廃棄促進協会 (JPTA)   
 2019年度 環境省 産廃エキスパート
 認定番号 5-19-00038

創業62年、人々が安心して生活できる 安全で快適な環境づくりに貢献します



練馬の大地
 おいしい作物は元気な土づくりから...
 弊社の資源リサイクルセンターにて学校給食残さをリサイクルし、良質の土壌改良材を精製しております。

★ 2019-2022 環境省 産廃エキスパート
 認定番号 4-19-00058

廃棄物処理

- ◆一般廃棄物収集運搬
- ◆産業廃棄物収集運搬
- ◆医療系廃棄物
- ◆資源リサイクル

警備

- ◆施設警備
- ◆駐車場管理
- ◆交通・雑踏警備

建物清掃

- ◆日常清掃
- ◆定期清掃
- ◆浄化槽・貯水槽清掃

環境衛生

- ◆空気環境測定
- ◆水質検査
- ◆害虫駆除

総合ビルメンテナンス

株式会社 五十嵐商会

IGARASHI

[本社] 〒177-0031 東京都練馬区三原台2-1-27 TEL03(3922)7547 FAX03(3978)1533

<http://www.igarashiyoukai.co.jp> 五十嵐商会 検索